

【概要版】

積極的にコミュニケーションを図ろうとする 態度をはぐくむ外国語活動の工夫

ー「つなぐっど！作戦」を取り入れてー

長期研修員 茂木 千恵子

主題設定の理由

学習指導要領 外国語活動
コミュニケーション能力の素地を養う

平成24年度群馬県学校教育の指針
コミュニケーションを図る楽しさが
味わえる活動の充実

児童の実態

間違ったら、
はずかしいな。

何て言っているか
分からないよ。

発話を戸惑う
会話が繋がらない

そこで

使い慣れていない外国語を用いつつも、人とかわ
わる楽しさを味わう活動の工夫が必要です。

会話をつなぐ
態度をとる

受け止め言葉を使
う

Talkingボード
を使う

つなぐっど！作戦

本研究では

コミュニケーションモデル
を見たりまねたりする

会話をつなげてみた
いという興味が高ま
る

出会う
過程

人間関係づくりのゲーム
を繰り返し行う

コミュニケーションを
図ることへの意欲が
高まる

慣れる
過程

ハートポイント活動
を繰り返し行う

積極的にコミュニ
ケーションを図ろうと
する態度がはぐくま
れる

広げる
過程

積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が育つ

会話をつなぐ態度をとる

- ・笑顔
- ・アイコンタクト
- ・うなずき
- ・ジェスチャー

限られた語彙・表現を補うことができます

受け止め言葉を使う

相槌を打つ	A ha. Really?
ほめる	Good. Nice.
認める	O.K. Yes.
聞き返す	Pardon?
促す	Why?

5種類8語を精選し、聞き手が状況に応じて用いることで会話をつなぐことができます

Talkingボードを使う

3歳

名前: ガガ

黒い



A4版の厚紙に、付箋紙を貼れるようにしたもので、話す際に見たり、指し示したりできます

コミュニケーションモデルを見たりまねたりする

出会う過程

Oh, Really?



学級担任

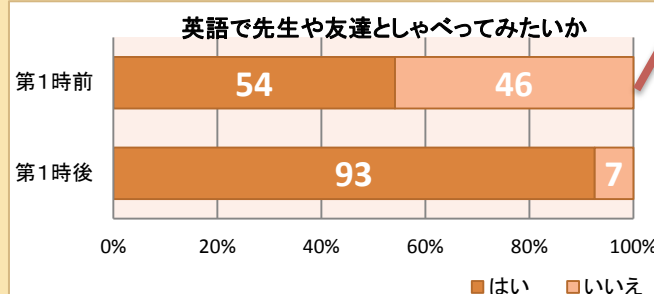
宝物紹介の会話が續かないので、学級担任が「つなぐっど！ 作戦」を用いながら、ALTと会話する様子を映像で見ました。その後、ジェスチャーや顔の表情をまねる活動をしました。

抽出児童: I like 貝がら。
聞き手: (首を縦に振る)
抽出児童: 小さい・・・
聞き手: (首を縦に振る)
抽出児童: いろんな色で・・・
形もいろいろある・・・

抽出児童の第1時の会話

(担任の)先生が何か紙を指していたね。私も、何か道具があれば話せるかもしれないな。

ジェスチャーをまねしたらすごく楽しかったから、また英語でしゃべってみたい。



「会話をつなげてみたい」という興味が高まりました。

人間関係づくりのゲームを繰り返し行う

慣れる過程



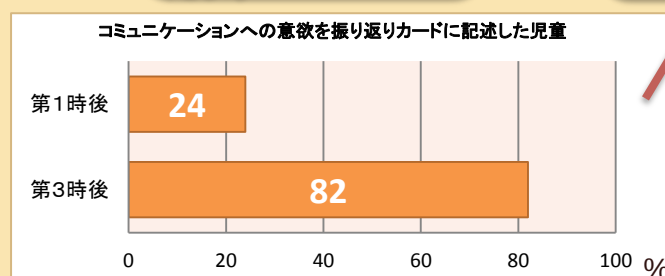
「つなぐっど！ 作戦」を用いながら、構成的グループエンカウンターショートエクササイズに外国語を取り入れてアレンジした「はてな？・びっくり！」「ひとことキャッチボール」を行いました。



抽出児童が作成したTalkingボード

私が話したら相手がうなずいてくれたので分かったんだなあとおどろきましたよ。

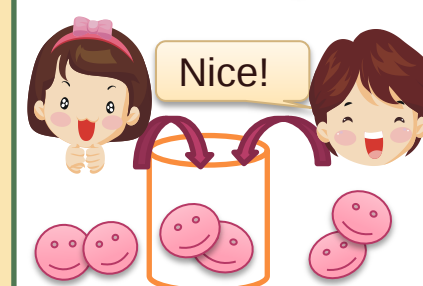
絵を見せながら話したら先週よりもスムーズに話せたよ。



「英語でも話せて楽しい！」という意欲が高まりました。

ハートポイント活動を繰り返し行う

広げる過程



出会った相手とペアを作り、「つなぐっど！ 作戦」を用いながら、自分の宝物を紹介しました。話すごとにはじきを瓶に入れ、ハートポイントとして二人でためていきました。

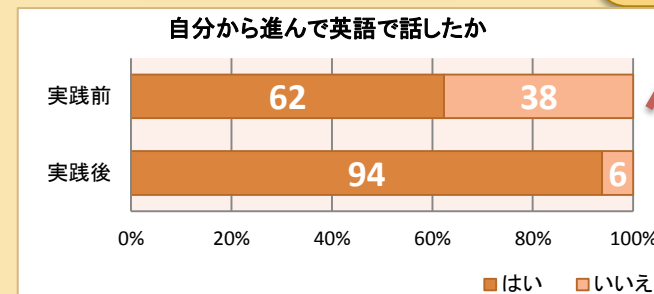
Hello. Hello.

抽出児童: My name is...
聞き手: My name is...
抽出児童: This is my sea shell.
聞き手: Aha.
抽出児童: I like my sea shell.
聞き手: O.K.
抽出児童: Purple, white, orange.
聞き手: Nice!
抽出児童: (指で示す) Small.
聞き手: O.K.
抽出児童: (拾うジェスチャー) Sea.
聞き手: Good!
抽出児童: Thank you. See you.
聞き手: See you.

抽出児童の第4時の会話

ハートポイントがたまるたびにわくわくしたよ。

みんなに自分の宝物が言えてよかった。みんなとより仲良くなった。



「自分から話してみよう！」という態度がはぐくまれました。

研究のまとめ

児童の変容

間違ったら、
はずかしいな。

実践前



相手の子が、私が話すのをしっかり見ていてくれたよ。「受け止め言葉」を言ってくれたから、通じたんだなあって思ったよ。

友達への安心感

何て言っているか、分からないよ。

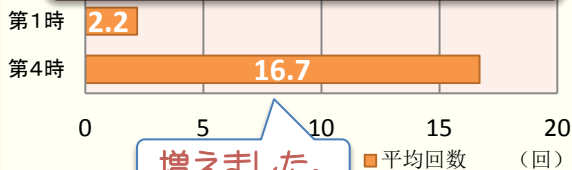
実践後



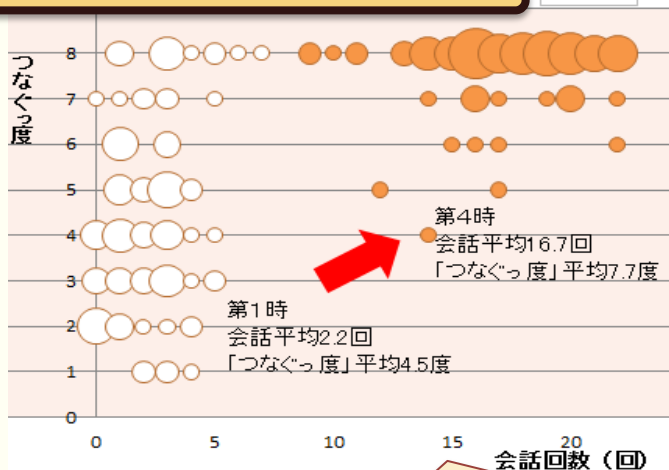
話したいことは「Talkingボード」にはってあったから、見ながら話したよ。「Talkingボード」を使ったら、会話がつながったよ。

話せた満足感

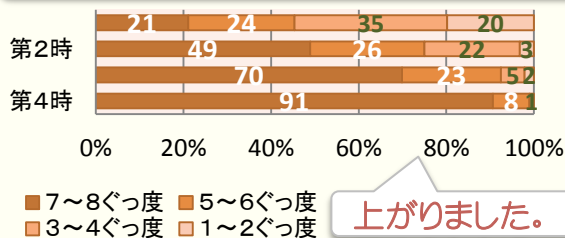
ペアでの会話回数



会話回数と「つながり度」の関係



「つながり度」(人とかかわる楽しさを表す指数)



つながり度は…

毎時間終了時に自己評価として最小1から最大8までの指数で表しました。
(例) 8ぐり度

- 会話がつながると、人とかかわる楽しさが増えました。
- 人とかかわる楽しさを感じた児童は、自分から進んで英語を話した児童とほぼ一致しました。

成果

- 「つながり度！ 作戦」を行うことによって、使い慣れていない外国語であっても会話をすることができ、児童は、人と楽しくかわりながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度をはぐむことができました。
- 一人一人が選んだ大切なものを紹介する活動は、限られた語彙・表現の中でも先生や友達に伝えたいという気持ちを高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる活動でした。

課題

- 児童の実態に応じた人間関係づくりのゲームをアレンジし、外国語活動で活用できるよう開発していく必要があります。
- 「Talkingボード」には、発達段階に応じた話題やあらかじめリストアップした語彙・表現などを用いる必要があります。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係 義務教育研究係

0270-26-9213(直通)